様式1

6　令和5年度　ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 船越小学校プラン

《学校の教育目標》　未来の船越をつくる子どもの育成

〈本年度 学校の重点目標〉　つながりつなぎ楽しむ子どもを育成する。

各教科等の基礎的・基本的な知識や技能を習得し自分の考えをつくる。【つくる力】

互いに考えを共有し合い、協働することで問題解決に生かし、次の問題発見につなぐ。【つなぐ力】

自他の理解を深め目標達成のための努力を続ける。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

①学力向上プラン「視点2」に記載

②子どもの思考過程にそった問題解決的な単元構成を工夫する。(各教科・領域において毎時間)

③教育 ICTを活用して教材の提示、情報収集、写真や動画等による記録を行う。(1日に3回以上)

【成果指標】児童による学習評価で、「chromeブックを使ってよかったです。」と答える児童が80%以上

④他国・自国の文化についての理解を深め、外国語を使って自分の思い・考えを伝え合う活動を行う。(毎時間)

笑顔の先生

① 学力向上プラン「視点4」に記載

② ワークシート・教材・動画・写真等の電子データの共有化と活用により、授業準備の効率化を図る。

【成果指標】児童による学習評価で、「先生はわかるまで教えてくれる」と答える児童が95%以上

協働する学校・家庭・地域

①地域学校協議会プラン「提言①」参照

②地域学校協議会プラン「提言②」参照

③学力向上プラン「視点5」に記載

楽しい学校

① 「くるめアクションプラン」にもとづいた「船越アクションプラン」を共有し、早期発見・早期対応を徹底する(毎日)。アンケートと教育相談(月1回)による実態把握、いじめ・不登校対策委員会(月1回)での対応策の検討、終礼等での全職員での情報共有、組織的な対応により、いじめ・不登校の未然防止・改善・解消をめざす。

② 「感染防止、防犯、危険な遊びの回避、安全な避難の仕方、廊下の通り方」等について自他の安全意識を高める日常や特活等の指導を継続する。(いずれかの項目につき、日常・特活の指導や帰りの会での振り返り)

③ 感謝の心を、学級外からも伝え合う取組を継続・充実させる。(全校放送・・・週1回、月間廊下掲示・・・常時)

【成果指標】児童質問紙で「学校に行くのは楽しい」と答える児童95%以上

【体力向上】

① 握力・柔軟性を高めるために、体育科学習の準備運動時に、「遊具運動・柔軟体操」を継続で取組む。(年間)

② 業間体育:わくわく遊具チャレンジ・ドッジボール・持久走(タイム走)・長縄跳・ボール体操**(「1校1取組」運動)**

・体力アップシート(遊具検定カード・短縄カード・持久走カード)活用率:目標　80%以上

・スポコン広場登録学級数目標　全学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

① 生徒指導の月めあてに挨拶目標を段階的に位置づけ、全校朝会での確認をする。(毎月)

② 「素早いとりかかりと黙って掃除」等を合言葉にした縦割班掃除と終了後の班別反省を継続する。(毎回)

③ 家庭学習パンフレットについて、学級懇談会等で自学自習の内容や取り組み方について共通理解の上、家庭掲示し、「家庭学習がんばりカード」による家庭との連携取組を継続する。(年間5回)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

【人権・同和教育】「自分も周りの人も大切にする心」を大事にし、協働する態度を育成しながら、よりよい人間関係づくりをめざす。　〔要綱 P　～参照〕

【特別支援教育】 集団での関わりの中で、特性に応じた教育支援を行い、個の自己実現をめざす。　〔要綱 P　～参照〕

【キャリア教育】 キャリアPを活用しながら、協働してやり遂げる問題解決の意欲を高める。　〔要綱P　～参照〕